

2001(平成13)年6月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会  
事務局 〒424 0888 (株)建設コンサルタントセンター内 (TEL 0543 45 2155(代) FAX 0543 44 2105)

会 長：松本 文雄 専務理事：神立 信  
編集担当者：松影 泰三 中田 洋輔 望月 圭祐

振込口座：静岡銀行可美支店 普通預金 0358349 静岡県技術士協会 会計 松尾博孝(053 441 6374)

【2001年度 会長挨拶】



静岡県技術士協会会長 松本文雄

協会は2001年度の定時総会を終えて、新年度をスタートしました。旧年度から会長をお受けして参りまして、振り返ってみますと、新規委託事業などの受託は協会として実施できませんでした。成長の見られない世相とは申せ、残念であります。

昨年度は技術士法の改正があり、試験方法の変更や新しい20番目の部門として、『総合管理部門』の新設も見られ、以前は数千人の受験者が、去年は4万に、今年は5万人台になる見込みであり、技術士の関心や認知度

は向上しております。この背景には産業構造の変化のなかで終身雇用制の見直しもあると思われませんが、個人が一法人や組織の倫理や価値観からの脱皮を指向している表れでもありましょう。また、国際化の動きのひとつにAPECエンジニアへの登録申請も、昨年来受理開始され、第1回の認定者もすでに3月に発表されています。

技術士の継続教育(CPD)の義務化では、各動きが進行していますが、中部支部などを通して、年間スケジュールを登録し実施してゆくことにより認められる手順になろうとしています。これにふさわしい技術士の技術力向上の機会を多く設けることが、今年度の重要な課題になろうかと思えます。

役員一同も多くの機会をもち、新施策の立案を検討しております。会員各位におかれましても、是非多くのご意見をお寄せくださるよう、お待ちしております。

# 2001年度定時総会開催

2001年4月20日(金) 於:クーポール会館(静岡市)  
総会成立が確認され以下の議案が審議,承認されました。

## 総会議案書(抄)

### 第1号議案 2000年度事業報告

#### 1 会員の状況

##### (1) 会員数

2001年 4月現在 196  
(内 個人会員175名 賛助会員21社)  
入会者6名、退会者15 (12名、3社)  
2000年 4月現在 205  
(内 個人会員181名 賛助会員24社)

##### (2) 入会者 6名

井口忠雄 岩ヶ谷昌敏 国方 優 清水洋彦  
清水博之 原 恒一

##### (3) 退会者 12名 3賛助会員

伊藤光造 加藤 昇 長澤 和 花谷守正  
初倉紀久 村瀬武雄 山田正巳 山本修章  
鷲尾 薫 守屋猪三郎(物故) 湖山東明  
鷲山裕厚  
協立電機(株) 石井土木設計事務所  
環境企画エンジニアリング(株)

##### (4) 休会者 5名

伊藤光雄 大古田忠雄 大沼俊一 加納照彦  
本川英佑

#### 2 総 会

日 時 2000年4月21日(金) 14:30~  
会 場 静岡市 クーポール会館  
議 案 第1号議案 1999年度事業報告  
第2号議案 1999年度決算報告  
第3号議案 名誉会員推戴の件  
第4号議案 規約改正の件  
第5号議案 役員改選の件  
第6号議案 2000年度事業計画案  
第7号議案 2000年度収支予算案  
第8号議案 その他

出席者 43名(委任状;68名+14社)

記念講演 『自然復元と環境創造への道』

富士常葉大学助教授 山田辰巳氏

#### 3 例 会

##### (1) 2000年度 第1回例会

日 時 2000年7月14日(金) 13:00~  
参加人数19名

内 容 沼津工業団地企業内企業見学と  
交流会

ねじ及び機械部品部品製造の山口  
製作所とチップマウンター用テーピ  
ング機製造の東京ウエルズの2社を  
見学

懇親会 三島市 田代グリル

##### (2) 2000年度 第2回例会

日 時 2000年10月5日(木) 14:00~  
参加人数17名

内 容 東海パルプ(株)島田工場  
紙のリサイクルプラント見学会

懇親会 島田市 「三布袋」

##### (3) 2000年度 第3回例会(研修会)

(日本技術士会中部支部と合同主催)

日 時 2000年12月9日(土) 14:00~  
参加人数25名

内 容 静岡市 クーポール会館  
外部講師による講演:  
(株)アールテック 小杉隆司氏  
演題「工業デザイン製品開発への  
IT革命の波」

懇親会 静岡市 クーポール会館(忘年会)

##### (4) 2000年度第4回例会

日 時 2001年2月3日(土) 13:30~

- 参加人員41名  
(うち中部支部11名参加)
- 内 容 ロックフィールド静岡ファクトリー  
見学会  
環境と省エネを指向する先進的食  
品工場の見学  
懇親会 浜松市 「弁松」
- 4 常任理事会
- (1) 第1回 常任理事会  
日 時 2000年5月15日(土) 1:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 会報発行について  
2000年度第1回例会開催について  
会員名簿改訂版発行について  
新聞コラム記事その他
- (2) 第2回 常任理事会  
日 時 2000年10月5日(木) 12:00~  
会 場 島田市 三布袋  
議 題 2000年度第3回例会開催について  
会報の内容について  
会費未納者への督促について
- (3) 第3回 常任理事会  
日 時 2000年12月9日(土) 12:00~  
会 場 静岡市 クーポール会館  
議 題 2000年度第4回例会開催について  
会報の記事について  
協会運営についてのアンケートに  
ついて  
会費の納入状況と督促について  
その他
- (4) 第4回常任理事会  
日 時 2001年3月3日(土) 13:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 2001年度総会議案(2000年度決  
算および2001年度予算案)について  
その他
- 5 理事・役員会
- 日 時 2001年4月2日(月)  
場 所 静岡市 クーポール会館  
議 題 2001年度定時総会議案の審議  
その他
- 6 地区ブロック会合  
東部地区  
日 時 2001年2月2日(土) 18:30~  
会 場 沼津市 沼津軒  
参加者16名  
議 題 次年度定例会について  
その他
- 7 会報の発行  
第91号 2000年 6月15日  
第92号 2000年 9月15日  
第93号 2000年 12月15日  
第94号 2001年 3月20日
- 8 事業
- (1) 協会の認知度向上活動  
地方公共団体 協会等からの相談 依頼に対  
応。また県下公共団体等へ会報を配送し PR  
を行なった。
- (2) 物故者への感謝状贈呈  
当協会に多大な貢献のあった「(故)守屋  
猪三郎会員」に松本会長から 感謝状を贈呈。
- (3) 定時総会の開催  
日 時 2000年4月21日(金)  
会 場 静岡市 クーポール会館
- (4) アンケート調査実施  
例会の活性化及び研究会のあり方に関する  
アンケート調査を実施。
- 9 会員の受賞  
財団法人日本発明振興協会より 会員2氏が  
表彰されました。  
清水康夫会員(農業) 白井発明功労賞  
受賞対象;『無洗米の製造方法』

渡邊三義会員(機械) 考案功労賞  
受賞対象;『磁力錠を装着した袋箱』

## 第2号議案 2000年度決算報告

### 10 日本技術士会中部支部との協力

定時総会：名古屋都市センター  
松本会長 清水顧問 出席

幹事会：

4月8日 7月9日 8月26日 9月16日  
11月12日 12月10日 2月3日 3月17日  
計8回  
松本会長 木村副会長 守屋副会長  
交代出席

中部役員会：

4月29日 6月11日 7月16日 10月28日  
2月3日 3月24日 計6回  
松本会長 守屋副会長  
石川理事(中部役員)出席

平成12年度技術士試験合格者祝賀会

3月24日 守屋副会長出席

愛知県技術士会平成12年総会

4月22日 松本会長出席

岐阜県技術士会平成12年総会

5月27日 木村副会長出席

日本技術士会近畿支部「震災対応技術展」

1月19日 神戸国際展示場  
松本会長出席

中部技術士会主催「継続教育研修会」

12月21日 本県会員11名出席

その他

「技術士中部」への投稿 協会活動状況を  
逐次報告

### (1) 一般会計の部

科目	収入		支出	
	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	9,611	9,611		
賛助会費	240,000	210,000		
日本技術士会助成金	50,000	203,303		
入会金	50,000	0		
年会費	1,424,000	1,232,000		
会合費(総会)	350,000	266,000	500,000	457,743
会合費(例会)	756,000	567,000	700,000	711,990
会合費(理事役員会)			150,000	141,019
事業費	500,000	0	500,000	0
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			300,000	354,260
印刷費			100,000	89,625
通信費			50,000	39,105
雑収入/雑費	50,000	193	500,000	268,389
基金特別会計より繰入	0	0		
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
会員名簿作成積立金			300,000	100,000
未収金	0	16,000		
予備金及び次年度繰越			109,611	121,976
計	3,429,611	2,504,107	3,429,611	2,504,107

### (2) 基金特別会計の部

項目	科目	予算	決算
基金の部	前年度繰越	2,000,471	2,000,471
	本年度増減	471	407
	合計	2,000,942	2,000,878
利息の部	収入	471	407
	一般会計へ繰り入れ	0	0
	残高	942	878

### (3) 40周年記念事業基金会計の部

科目	収入		支出	
	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	400,334	400,334	0	0
一般会計からの繰り入れ	100,000	100,000	0	0
利息	0	232	0	0
合計	500,334	500,566	0	0

### (4) 会員名簿作成積立金の部

科目	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	0	0	0	0
一般会計からの繰り入れ	300,000	100,000	0	0
合計	300,000	100,000	0	0

## 会計監査報告

2000年度の決算について 諸帳簿及び関係書類を精査の結果 正確 適性であることを認める。

2001年4月20日

会計監事 小川 誠慈 印  
森 稔夫 印

## 第3号議案 名誉会員推戴の件

新名誉会員 3名(技術士部門順)

乾 昇(機械) 高橋俊郎(金属)

蓮池 昇(水道)

名誉会員 19名(技術士部門順)

(機械)加藤幸男

(電子)高塚明経 鷲山秀彦

(化学)金沢 徹 金子信一 中川 滉

(金属)磯部俊夫

(建設)芦沢五一 久米松太郎 高野克巳

鶴田三男 水谷一夫 山田康一

(水道)絹村 薫 二俣数夫

(農業)松原繁左右

(経営)伊藤寿洋 高柳 剛 竹花 健

## 第4号議案 規約改定の件

会員の高齢化に伴う、将来的な予算不足対策のため、名誉会員の推戴基準と会費負担免除の項の改定をする。

第6条(4)名誉会員 本会に在籍年数

10年以上.....

を

20年以上.....

と改定する。

第22条.....ただし名誉会員については、

会費を免除することが出来る。

を

会費の1/2を免除することが出来る。

と改定する。

## 第5号議案2001年度事業計画案

2001年度事業の活動は 今までの実施事項を基本としつつ、より内容の充実したものとし、あわせて外部団体への働きかけを通して 地域社会への貢献を増したい。

### 1 組織の安定化

(1) 組織の拡大を図るため 県下の未加入者を勧誘する。

(2) 部門 あるいはテーマ別の研究会活動を発足させる。

### 2 静岡県技術士協会の認知度を高揚

(1) 会員名簿や協会資料の配布しPRを行う。

(2) 技術的相談・依頼への積極的対応をする。

### 3 事業の実施

(1) 総会の開催

日 時 2001年4月20日(金)

会 場 静岡市 クーポール会館

議 案 2000年度事業報告および2001年度事業計画の承認

記念講演

会員による講演；

井上博正 会員(建設部門)

演 題 『開発途上国における国際協力(ODA)について』

(2) 例会の開催

(見学会および会員の講演による研修会等を行う。)

7月 東部で開催(東部担当)

10月 中部 " (中部担当)

12月 静岡 " (研修会・忘年会)

3月 西部 " (西部担当)

(3) 地区ブロック会合

地域団体等からの委託や技術的相談に対応する。

(4) 部門・テーマ別研究会活動を推進する。

(5) 日本技術士会との交流

日本技術士会中部支部との共催で研修会を開催する。

(6) 会員名簿を改訂する。

4 役員会

常任理事会、理事・役員会 地区役員会を随時開催する。

5 会報の発行

年間4回 定期発行する。

**第6号議案 2001年度収支予算書**

(1) 一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	9,611	121,976		
賛助会費	210,000	210,000		
日本技術士会助成金	203,303	100,000		
入会金	0	10,000		
年会費	1,232,000	1,256,000		
会合費(総会)	266,000	280,000	457,743	450,000
会合費(例会)	567,000	644,000	711,990	700,000
会合費(理事役員会)			141,019	150,000
事業費	0	200,000	0	200,000
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			354,260	340,000
印刷費			89,625	80,000
通信費			39,105	40,000
各種活動助成費				130,000
雑収入/雑費	193	20,000	268,389	240,000
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
会員名簿作成積立金			100,000	230,000
未収金	16,000	0		
予備金及び次年度繰越			121,976	61,976
計	2,504,107	2,841,976	2,504,107	2,841,976

(2) 基金特別会計の部

項 目	科 目	前年度決算	予 算
基金の部	前年度繰越	2,000,471	2,000,878
	本年度増減	407	0
	合 計	2,000,878	2,000,878
利息の部	収入	407	0
	一般会計へ繰り入れ	0	0
	残 高	878	878

(3) 40周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	400,334	500,566	0	0
一般会計からの繰り入れ	100,000	100,000	0	0
利息	232	0	0	0
合 計	500,566	600,566	0	0

2000年度静岡県技術士協会総会記念講演  
**開発途上国における国際協力  
(ODA)について**

井上博正 技術士 (建築部門)



【講師紹介】

井上講師は1980年熊本大理学部地質学科(院)卒業以来大手ゼネコンで10年以上の海外勤務を経て 昨年故郷の浜松にUターン 現在は(株)中部総合コンサルタントに在籍されています。

また昨年はODAモニター調査団の1員としてラオス国にも派遣され、そうした豊富なご経験をもとに 県内各地で講演をされています。

講演要旨

- 日本のODA(海外開発援助)の現状  
ODA支出は約1兆円で 内訳は二国間援助によるもの70% 国際機関への支出が20%である。さらに二国間援助の形態は、  
無償資金協力(保健医療 教育関連等)、  
技術協力(人材育成) 有償資金協力 = 円借款(インフラ整備等)。

## 1. ラオス

ラオスは90%が農民で、1人あたり年間所得は200ドル程度。経済は自給自足とみていい。

ベトナム戦争のころ日本の援助でつくったナムグムダム。堤体はさほど大きくないが貯水量が70億トンと日本では考えられない大きさである。それだけ多くの農地や森林を犠牲にしていることになりダム湖の水質環境問題も解決されていない。

また農業は1サイクルを10年とする焼き畑だが森林率が70%から45%に低下してしまった。そこでこの方面でも植林を目的としたJICAの援助がおこなわれている。

10mにも達する見渡す限りの氾濫原となる。人々はボートピープルならぬフローティングビレッジと称するいかだ上に住む。淡水魚の生産量は5万トン/年にも達する。昨年は洪水で大被害が発生しODA緊急援助をおこなった。

ラオスカンボジアといった国は自給自足で、現金の流通も必要ないところだ。豊富な農産物に支えられ飢えることはない国で日本式近代農業を行なって生産性を上げて必ずしも農民が幸せになれない。文化と技術の観点からみれば、1000年以上も前アンコールワットアンコールトムの遺跡にはすばらしい水田灌漑施設が残っている。

## 2. カンボジア

メコン川支流のトンレサップ川。広大な氾濫原があり乾季2700平方キロ水深3mだった湖が雨季には10000平方キロ水深

講演はイランやカスピ海沿岸国の話など興味につきずビデオ上映とともに深い感銘に浸ることができた。

---

# 分科会活動の状況報告

会報担当 松影泰三

## 1 分科会活動の検討

去る4月20日の2001年度定時総会で、今年度の事業実施事項として、部門別研究会活動の検討を行うことが報告・承認されました。その後の常任理事会での検討状況をお知らせします。

東部 中部 西部理事会にも検討依頼

- (1) 研究会活動にはテーマ別、部門別、地域別などの考え方があります。また活動には継続的に推進するリーダーが必要です。地域の会員情報をご存知の東・中・西部の各理事会に地域の実情を考慮した分科会活動のあり方を検討して頂くように依頼します。

アンケート結果の活用

- (2) 昨年11月に例会の活性化及び研究会のあり方について会員178人にアンケートを依頼しました。研究会について45人の会員から意見が寄せられ、内31人から研究テーマ(案)の提言がありました。上記の地域理事会にこれらの研究テーマ(案)をお知らせしますので具体的な検討に役立てて頂きたい。

## 2 安全衛生研究会の継続実施

安全衛生研究会は1999年10月に第一回、2000年2月に第二回を開催して以来活動が停止していましたが山之上誠会員を代表幹事として再開されることになりました。要点は次の通りです。

- (1) 主旨：当協会のテーマ別研究活動であり今後の技術士継続教育(CPD)としてとりあげることも視野に入れる。
- (2) 行動目標(案)：OHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の研究を主テーマとして以下の項目を対象にする。

OHSMSに関わるリスクアセスメントの研究  
機械設計に関わるリスクアセスメントの研究  
中小企業向けのリスクアセスメントの研究  
リスク提言策の手法の研究

第三回研究会が6月30日(土)9:30~11:45静岡労政会館で行われます。安全衛生研究会に興味・

## 会員の消息

敬称は省略させていただきます。

新規入会  
(6名)

氏名  
生年月日  
技術部門(登録番号)  
最終学歴  
勤務先



房本 章  
(ふさとと あきら)

化学部門( )

ポリプラスチック(株)



金 成秀  
(きん せいしゅう)

水道部門(23753)

国際水道コンサルタント(株)



森本 敏明  
(もりもと としあき)

環境部門(補)( )

山之内製薬(株)



三枝 久芳  
(さえぐさ ひさよし)

情報部門(44422)

東芝テック(株)三島事業所



山田 勇  
(やまだ いさむ)

林業部門(43982)

(株)トップエンジニア



伊達 潔  
(だて きよし)

農業部門(45986)

オフィスAEC

退 会 (1社)賛助会員  
環境企画エンジニアリング(株)

### 【会費納入のお願い】

2001年度会費納入がお済みでない皆様へ、  
お早めに納入下さいますようお願いいたします。

【年会費】 一般会員：8,000円  
名誉会員：4,000円

振込先：静岡銀行 可美支店 普通 0358349  
【静岡県技術士協会 会計 松尾博孝】

### 《編集後記》

2001年度の第1号をお送りします。今総会では名誉会員に関する2か条の規約改定がありました。内容は名誉会員推戴の本会在籍期間を20年以上とし、現在免除となっている年会費を1/2ご負担いただくというものです。

名誉会員や目前名誉会員の先輩技術士の方々には、大変心苦しいことですが、諸事情ご賢察の上、ご協力くださいますよう、役員一同お願い申し上げます。

季節の変わり目で、天候もはつきりませんが、健康に留意されて、例会でお会いしましょう。

(5/30編集者)

7月例会の予告 東部担当 稲葉弘之

東レ三島工場・研修センター見学会

繊維中心の素材産業にはじまり、現在では通信、環境、リサイクル関連分野にまで及ぶ同社の取り組みを見学し、資源の有効利用について考える。

日 時：2001年7月19日(木)14:00より  
会 場：東レ三島工場・研修センター  
会 費：6000円(見学だけの参加は1000円)  
集 合：2001年7月19日(木)13:50  
東レ三島工場本館

懇親会：行事終了後三島駅近くに会場を移し、懇親会を計画しています。会場は未定。